

第14回（定例）兵庫県教育委員会会議録

1 開会・閉会の年月日時及び場所

令和3年11月4日（木）15:15～17:00

加古川加古川町寺家町天神木97-1

加古川総合庁舎5階A・B会議室

2 会議に出席した者の職氏名

教育長	西上教育長	
教育委員	清水委員	牧村委員
	横山委員	並河委員
事務局	唐津教育次長	吉田事務局参事兼総務課長
	高橋教育企画課長	稲次教職員課長
	村田義務教育課長	小俵特別支援教育課長
	西田高校教育課長	桂播磨東教育事務所長

3 署名委員の指名等について

(1) 署名委員は、西上教育長の指名により、次のとおり決定された。

清水委員 牧村委員

4 前回会議録の承認に関する件

第13回（定例）兵庫県教育委員会会議録の承認

第13回定例教育委員会における議事9件、報告事項2件の会議録について、吉田事務局参事兼総務課長が説明し、全員異議なく承認された。

5 議事

(1) 第52号議案

県立学校生徒用貸与端末の取得に係る意見申出

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、県立学校生徒用貸与端末の取得について、高橋教育企画課長が説明し、審議の結果、賛成全員で原案のとおり決定された。

6 その他

移動教育委員会当日の学校・社会教育施設の視察や今年度の特別講義の感想等について、各教育委員が報告した。

7 播磨東地区の教育の概要

播磨東教育事務所管内の教育の概要について、桂播磨東教育事務所長が報告した。

8 委員の主な意見及び事務局の説明

(1) 播磨東地区の教育の概要

(清水委員)

播磨東地区は、日本語の理解が十分ではない外国人児童生徒や家族の居住が多いと思うが、多文化共生サポーターなどのサポート体制についてお聞きしたい。

(桂播磨東教育事務所長)

播磨東管内には、約200名の日本語指導が必要な児童生徒がいる。特に、三木市が多いため、日本語指導や多文化共生の研究指定校に指定し、生活言語から学習言語までどうすれば体系的に習得できるかという研究事業を実施している。

(清水委員)

市町だけでの対応では難しいと思われる。

(桂播磨東教育事務所長)

全県的な課題であるため、県からもサポーターを派遣している。県教育委員会と市教育委員会が協力しながら、課題を拾い上げ、汎用性を持たせた指導改善に向け今後も取り組んでいきたい。

(横山委員)

女性管理職の割合が10年前の2倍になったということだが、市町によって割合が高い地域と低い地域があると思うが、地域間の比較について、意見を伺いたい。

(桂播磨東教育事務所長)

女性管理職の割合が、4割から5割の市町もあるが、残念ながら0%の市町もあり、地域間格差は大きい。教育長のリーダーシップで進んでいる市町や、管内の女性教育長から実際に話を聞いて刺激を受け管理職をめざした教員がいる市町もある。また、孤独や不安を感じて管理職になりたがらない人がある中で、市町教委から、何かあった時には男性女性に関わらず、管理職をサポートしますよというメッセージを出すことで増えた事例もある。

(横山委員)

教育長が頑張って女性管理職の割合が伸びた地域は良いが、消極的な教育長に対しては強くお願いすることは可能か。

(桂播磨東教育事務所長)

可能であるが、管内の教育長は、女性管理職の割合を高めるため、計画的に進めているところである。人事の関係があり時間は少しかかると思うが、女性管理職の割合は、高まっていくと考えている。

9 閉 会

以 上